

中央社会保険医療協議会 診療報酬基本問題小委員会（第4回）
議事次第

平成13年6月27日（水）
11時00分（目途）～12時00分
霞が関東京會館ロイヤルルーム

議題

- 1 診療報酬体系の見直しについて
- 2 その他

中央社会保険医療協議会 基本問題小委員会議事概要（案）

1. 日時

平成13年5月16日（水）11:32～12:09

2. 場所

厚生労働省9階省議室

3. 議題

- ・診療報酬体系の見直しについて
- ・その他

4. 議事の概要

- 今回は、前回の基本小委で議題とされることとなった「機能分担と連携」について、事務局より関連する資料が提出された。これに関する主な質疑は次のとおり。

（1号側委員より）

- ・ 一番の問題は、社会的入院である。高齢者の医療費の問題が今度の改革で一番大きな問題になる。病院の方に介護度の低い患者が入っているのではないかという見方もある。一概に言えない点もあると思うが、介護保険の施行状況を、報告してもらいたい。

それから、外来は伸びている傾向があるが、その理由の一つに、開業医が長期投薬をやらないという意見もある。また、外来については、かかりつけ医の点数として、一部包括点数を採用しているが、かかりつけ医がはっきりした形で存在しないことから、いっそのこと止めたらどうか、結局、合理化につながらなかったのではないかという厳しい意見もある。それに絡んで、現在200床で外来を区分しているが、200床の根拠が乏しい。その辺も機能分担という意味からいうと問題になる。

それから、特定機能病院については、病院によってかなり違った医療が行われているのが実態である。特定機能A機能、B機能に分けたらどうか。

（2号側委員より）

- ・ 介護度の低いものが残っていると言うが、費用的には低く設定しており、医療機関が得をしているわけではないので、誤解のないようにしていただきたい。前回の診療報酬改定でもそのあたりも検討して点数設定をしているので、基本的には介護の必要な者は介護に行き、医療的な対応が必要で残らざるを得ない者が残っていると理解をしている。

それから、刻みの話が出たが、今日の資料を見ても、一件当たりの日数は毎月下がっている。したがって、おっしゃるようなことはほとんどない。長期投与できる薬剤の数も増やして対応しており、我々もそういう指導をしている。誤解のないように願いたい。

それから、外来の包括化については、いろいろ問題があるという認識を持っている。また、200床の区分の問題は、200床の中にいろいろな病床を含めたことが問題である。一般病床200床で区別するならわかりやすかったのではないか。今後また議論したい。

あと、特定機能病院については、我々も問題だと思っている。今の一本の診療報酬体

系で、同じように対応させていくのか。また、財務状況が全く違う病院が同じ診療報酬の中でやっていくのも問題であり、その辺は区分けして考える必要があるのではないか。

- ・ 長期医療ということで指摘があったが、歯科の方は特別にそういうふうに無理に延ばしているとか、そういうことは現状ではないということをお理解いただきたい。

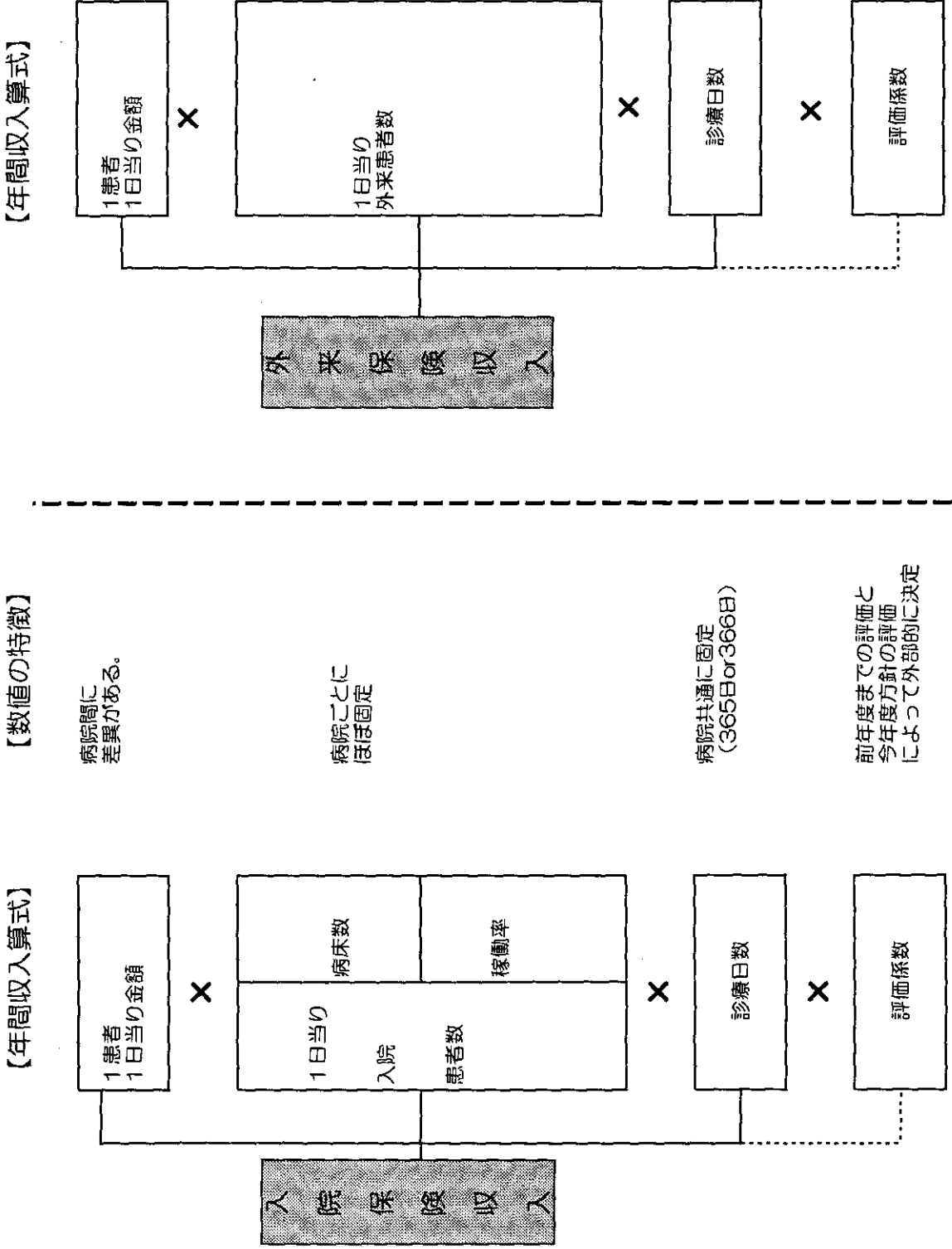
○ 次回の進め方について、事務局より「医療技術の適正評価」と「出来高と包括の組み合わせ」を議題としてはどうかと発言があった。

(1号側委員より)

- ・ 結構である。技術料となると、やはり人件費だと思う。医師の人件費などがある意味では技術料の最たるものなので、一体それがどういう推移をたどっているかという点が出せないだろうか。それに絡んで、看護婦数もすごく増えてきている。そういった医療関係のスタッフがどういうふうになってきているのか、人件費の動きはどうなっているか、その辺が技術料を議論する場合の一つの見方だと思うので、資料を用意していただきたい。

(以上)

特定系統病院の予算制化の検討の道筋



材料費	材料費/技術料				キャピタルコスト	
	診断・検査	小計	治療・管理	小計	在院	金額
医薬品			医薬品	846,251		
診療材料			診療材料	448,860		給食用材料 54,108
医療消耗器具備品			医療消耗器具備品	18,716		給食外注費
検査外注費			検査外注費	223,410		
材料費計			材料費計	1,537,237		材料費計 54,108
人件費			医師	228,696		医師(16人分) 243,900
・給与費			看護職員	647,119		看護職員(85人分) 607,541
・退職金給与			診療放射線技師	248,507		役員報酬等 12,056
・引当金繰入			薬剤師			
・法定福利費			OT, PT, CP, PSW			
			視能訓練士			
			臨床工学技師			
			あん摩マッサージ指圧師			
			その他の医療従事者			
			事務員等	28,570		栄養生 6,830
						調理師・調理助手
						ハウスキーパー
						管理者
						事務員・労務員等 109,900
						人的管理費 181,149
減価償却費			治療機器	1,152,893		租税公課 95,788
			手術設備	103,871		火災等保険料 4,957
			リハビリ機器			光熱水費 110,409
			賃借料			修繕費 49,843
						リネン費
						その他(営繕費) 16,515
物件費			賃借料			物的管理費 277,512
財務的費用			在庫投資費(薬剤/医材)			
その他			損耗経費			
			薬剤師人件費			
			医療廃棄物処理費			

*事務員給与は、収入で按分した。賃借料は少ないこともあり、在院コストにまどめた。

再生産費用	総額	1人当たり	1日当たり	入院患者
ライフライン産業の最低レベル(従業員1人当たり1,300千円)	千円	千円	千円	1人当たり
薬・材料	1,537,237	12.0	4,212	-
技術料	1,256,763	9.8	3,443	-
キャピタルコスト	1,602,771	12.5	4,391	18.7
合計	4,396,771	34.2	12,046	-

材料費 / 技術料			キヤピタルコスト		
診断・検査	治療・管理	合計	(在院)	金額	
医薬品	医薬品	4,905	給食用材料		
診療材料	診療材料	463	給食外注費		
医療消耗器具備品	医療消耗器具備品				
検査外注費	検査外注費				
材料費計		5,368	材料費計	0	
人件費	医師 (院長を除く)		医師		福利厚生費
・給与	看護職員		看護職員		職員被服費
・退職金	診療放射線技師	14,902	役員報酬等	16,572	研修研究費
・引当金	臨床検査技師				旅費交通費
・法定福利費	薬剤師				通信費
	OT, PT, CP, PSW				事務用・消耗器具備品費
	視能訓練士				消耗品費
	臨床工学技師				消耗器具備品費
	あん摩マッサージ指圧師				会議費
	その他の医療従事者				交際費
	院長給与	14,400	栄養士		賠償等保険料
			調理師・調理助手		監査費
			ハウスキーパー		委託費
			管理者		車両費
			事務員・労務員等		その他
	事務員等				18,110
減価償却費	人件費計	29,302	人件費計	16,572	23,770
	診断検査機器		建物・内装・構築物		
			ベッド		租税公課
			車両運搬具		火災等保険料
			その他		光熱水費
賃借料・地代	賃借料		賃借料	3,000	修繕費
			地代		リネン費
物什費			物件費計	3,000	その他(管理費)
					物的管理費
財務的費用	在庫投資費(薬剤/医材)				0
その他	損耗経費				
	薬剤師人件費				
	医療廃棄物処理費				
再生産費用	再生産費用	7,800			
ライフライン産業の最低レベル(従業員1人当たり1,300千円)					
総額	総額	5,368	1人当たり	0.32	15
薬・材料	薬・材料	37,549	1日当たり	2.24	103
技術料	技術料	43,342		2.59	119
キヤピタルコスト	キヤピタルコスト	86,259		5.15	236
合計	合計				

*無床診療所の場合は、院長給与は役員であるかどうかにかかわらず技術料。減価償却費にはリース料を含み、すべて技術料とした。地代家賃は在院コストにまとめた。人的資源のその他は、一般管理費のその他すべて。

診療報酬と医療機関のコストの関係

機能費用	診断/検査	治療/管理	在院
材料費	医薬品(検査用試薬を含む) 診療材料 医療消耗器具備品 検査外注費	医薬品(検査用試薬を含む) 診療材料 医療消耗器具備品 検査外注費	給食用材料 給食外注費
人件費	医師 診療放射線技師 臨床検査技師 看護職員 視能訓練士 その他の医療従事者 事務員等の給与 退職金給与引当金繰入 法定福利費	医師 看護職員 診療放射線技師 薬剤師 OT PT CP PSW 視能訓練士 臨床工学技士 あん摩マッサージ指圧師 その他の医療従事者 事務員等の給与 退職金給与引当金繰入 法定福利費	医師 } 人員基準 看護婦 } 栄養士 } 調理師/調理助手 } ハウスキーパー } 管理者 } 事務員・労務員等の給与 } 退職金給与引当金繰入 } 法定福利費 } ○人的管理費 福利厚生費 研修研究費 通信費 事務用・消耗器具備品費 会議費 賠償等保険料 委託費 消耗器具備品費 車両費 等 職員被服費 旅費交通費 消耗品費
物件費	減価償却費(診断検査機器) 賃借料	減価償却費(治療機器) 減価償却費(手術設備) 減価償却費(リハビリ機器) 賃借料	減価償却費(建物/内装/構築物) 減価償却費(ベッド) 地代 賃借料 ○物的管理費 租税公課 火災等保険料 光熱水費 修繕費 リネン費 等
財務的費用	在庫投資費(薬剤/医材)	在庫投資費(薬剤/医材)	
その他	損耗経費 薬剤師人件費 医療廃棄物処理費	損耗経費 薬剤師人件費 医療廃棄物処理費	

薬・材料の診療報酬体系として整理

在院の診療報酬体系として整理

技術の診療報酬体系として整理

診療報酬体系に係る今後の検討事項（抜粋）

（２）医療技術の適正評価

①「技術」の適正評価

- 医療技術の評価の適正化を図る観点から、技術難易度や診療科特性、医科・歯科・調剤それぞれの固有の特性等を踏まえつつ、どのように考えるか。
- 予防的治療技術など、予防医療の医療保険上の位置づけについてどのように考えるか。

②診療実績等に応じた機能評価

- 看護必要度など診療実績等の評価するため、具体的な指標や把握方法等について、どのように考えるか。

（３）出来高と包括の最善の組み合わせ

①入院における出来高と包括の組み合わせ

- 慢性期入院医療における包括払いのあり方についてどのように考えるか。

②外来における出来高と包括の組み合わせ

- 慢性期外来医療における包括払いのあり方について、どのように考えるか。